令和7年度第1回春日井市地域公共交通会議議事録

1 開催日時 令和7年6月27日（金）午後3時から午後4時30分まで

2 開催場所 文化フォーラム春日井2階 会議室A及び会議室B

3 出席者

【会長】	中部大学工学部都市建設工学科教授	磯部	友彦
【委員】	名鉄バス株式会社運輸本部次席交通企画官	平塚	康男
	公益財団法人愛知県バス協会専務理事	小林	裕之
	愛知県タクシー協会春日井支部長	奥村	薫績
	春日井市区長町内会長連合会理事	押谷	好郎
	西部中学校区民生委員児童委員協議会会長	長谷川	久美子
	春日井市老人クラブ連合会副書記	松本	豊
	春日井市婦人会協議会副会長	横井	広美
	国土交通省中部運輸局愛知運輸支局首席運輸企画専門官	原田	光一郎
	愛知県交通運輸産業労働組合協議会幹事	山田	洋央
	愛知県尾張建設事務所維持管理課長	加藤	純丈
	春日井市建設部道路課長	柘植	忍
	愛知県春日井警察署交通課長	蜂須賀	大雄
	愛知県都市・交通局交通対策課担当課長	石屋	義道
	高蔵寺ニュータウンセンター開発株式会社主幹	木村	俊夫
	春日井市まちづくり推進部長	森	浩之
【参考人】	近鉄東美タクシー株式会社春日井営業所長	松本	力
	愛知県尾張建設事務所維持管理課総括専門員	壽賀	奈津子
	小牧市都市政策部次長	川島	充裕
【事務局】	春日井市まちづくり推進部都市政策課		
	課長	堀尾	悦嗣
	課長補佐	熊澤	伸晃
	主査	志津	明典
	主査	津田	哲宏
	主任	若林	努
	主事	諸戸	啓希

4 傍聴者

3名

5 議事

- (1) 協議事項 1 春日井市地域公共交通計画改定について
- (2) 協議事項 2 かすがいシティバス路線改定について
- (3) 報告事項 1 かすがいシティバスマタニティカード保有者の運賃改定について
- (4) 報告事項 2 令和8年度こまき巡回バス再編に係る春日井市への乗り入れについて

6 会議資料

- 資料 1-1 春日井市地域公共交通計画改定スケジュールについて
- 資料 1-2 春日井市地域公共交通計画の進捗状況について
- 資料 1-3 春日井市地域公共交通計画改定について
- 資料 2 かすがいシティバス路線改定について
- 資料 3 かすがいシティバスマタニティカード保有者の運賃改定について
- 資料 4 令和8年度こまき巡回バス再編に係る春日井市への乗り入れについて

7 議事内容

- (1) 協議事項 1 春日井市地域公共交通計画改定について

【事務局 志津】

資料 1-1 から 1-3 について説明を行った。

【磯部会長】

協議事項のため、意見交換を行った後、決議を行う。

【原田委員】

資料 1-2 の評価指標について、地域交通法に基づき、計画の評価を毎年度行うことが努力義務となっている。現行の計画の評価指標は、膨大な調査をしないと評価できない項目がある。国土交通省では、計画のアップデートガイダンスを作成しており、これを参考に指標は収集しやすいデータを用いて毎年評価できるものとするのが良いと思われる。一方で満足度等の指標も中長期では必要と思われるが、指標の数が多いため、もう少し絞っても良いと思われる。

【事務局 熊澤】

国の資料を確認しているところであり、いただいた意見及び他市町村の地域公共交通計画を参考とし、検討する。

【磯部会長】

毎年度評価するものと、複数年度で評価するもので分けて、危険な兆候が出た際にす

ぐ対応できるよう指標を考えていくとよい。また、地域公共交通計画はコミュニティバスだけではなく、民間バスや鉄道の過去から現在、将来を考えて計画のための資料としていただきたい。

【磯部会長】

協議事項1 春日井市地域公共交通計画改定について、承認してよいか。

【委員】

異議なし。

【磯部会長】

協議事項1 春日井市地域公共交通計画改定について、承認する。

(2) 協議事項2 かすがいシティバス路線改定について

【事務局 志津】

資料2について説明を行った。

【磯部会長】

協議事項のため、意見交換を行った後、決議を行う。

【磯部会長】

今回は課題のある箇所の洗い出しであり、実際に路線を検討する際にはバスの通行可能な経路を選定する必要がある。その際は委員の意見を頂戴したい。

【磯部会長】

協議事項2 かすがいシティバス路線改定について、承認してよいか。

【委員】

異議なし。

【磯部会長】

協議事項2 かすがいシティバス路線改定について、承認する。

(3) 報告事項1 かすがいシティバスマタニティカード保有者の運賃改定について

【事務局 志津】

資料3について説明を行った。

【磯部会長】

委員に意見を求めた。

【委員】

意見なし。

(4) 報告事項2 令和8年度こまき巡回バス再編に係る春日井市への乗り入れについて

【小牧市】

資料4について説明を行った。

【磯部会長】

委員に意見を求めた。

【横井委員】

上田楽バス停に小牧市の巡回バスが停車するとあるが、春日井市のバスからの利用は可能か。

【事務局 熊澤】

上田楽バス停付近は北部オンデマンドバスのエリアであり、バス停付近に乗降ポイントがあるため、乗り換えは可能である。

【横井委員】

かすがいシティバス同士では乗継券の発行により、同一料金で利用できるが、そのようなサービスはあるか。

【事務局 熊澤】

小牧市のバスと春日井市のバスの間では乗継券等による割引はない。

【磯部会長】

小牧市のコミュニティバスの料金体系はどのようになっているか。

【小牧市】

料金は1日あたり大人が200円、中学生未満が100円を原則としており、未就学児や65歳以上の高齢者、障がい者手帳所持者は利用料金を免除し、無料となっている。

【平塚委員】

コミュニティバスの充実は地域の利便性を高める一方で、民間のバスやタクシーとの運賃格差が生じ、地域の公共交通ネットワークが崩れる可能性がある。民間のバスやタクシーの利用者が減少すると、運行本数の減便や路線の廃止等に繋がってしまい、かえって不便となる場合があることをご理解いただきたい。

【小牧市】

小牧市のコミュニティバス路線は、市民の意見を頂いた上で利便性向上のために再編を行った。考え方としては、民間路線バスや鉄道を含めた交通空白地域の解消である。また、小牧市の計画では、コミュニティバスや民間路線バス、鉄道、タクシー等を含め、役割分担をしながら持続可能な公共交通を計画している。

【事務局 熊澤】

春日井市の計画でも隣接市と連携しながら公共交通の利便性を高めることとしているが、一方で、民間路線バスを含めた地域公共交通の存続を考える必要性があると考えている。

【磯部会長】

春日井市の課題だけでなく、隣接市や事業者の課題も踏まえて検討していく必要がある。

【長谷川委員】

路線バスの運賃について、シルバーパス等の1か月定期の割引料金はあるが、高齢者や免許返納者の運賃割引制度は無いのか。また、同一様式のカードで様々な交通の割引適用ができると良いと考える。

【磯部会長】

他事業者の行っている割引制度については答えられないというのは、利用者からしてみると不便であるが、現実的に難しい。同一割引制度を設けることも難しいと思うが、今後も議論していけるとよい。

(5) その他

【磯部会長】

他に意見・質問はあるか。

【松本委員】

老人クラブは福祉の里や総合福祉センター、市役所、朝宮公園、総合体育館運動広場で活動をしているが、バスではなく自家用車の乗合で移動している。今回の会議でバスを用いた移動手段があることは分かったが、本数が少なく、時間もかかるため、バスを利用しない。公共交通機関を充実させて、気軽に利用できるようにしてほしい。また、65歳以上のバス料金を無料としていただきたい。

【事務局 熊澤】

福祉の里、総合福祉センター、市役所、朝宮公園、総合体育館運動広場は乗り継げばシティバスで行けるが、本数が少ない等の意見も頂いている。今後、当会議で意見を聞きながら検討していきたい。また、高齢者の運賃については、他市の状況等を参考にしつつ調査研究していきたい。

【磯部会長】

利用者が多ければ運行本数が増え、利用者が少なければ運行本数が減るため、バランスが取れると良いとは考えているが、難しいところである。

【松本委員】

免許を返納する前にバスを利用することに慣れていないと、車移動からバス移動へスムーズに移行できない。

【磯部会長】

春日井市はバスの乗り方教室等を行っているか。

【事務局 熊澤】

春日井市では、モビリティマネジメントとして令和4年から情報誌の発行や地域でのワークショップの開催、路線バス無料デー等を行い、公共交通に関心を持っていただけるように啓発活動を行っている。

【磯部会長】

運輸局としても何かあるか。

【原田委員】

バス運転手の確保として、運転体験のようなものは行っている。

【磯部会長】

市民からも教室の開催を依頼する等、要望をすると良い。

【石屋委員】

愛知県では利用促進活動として、わくわく体験リニモツアーを行う。

上記のとおり令和7年度第1回春日井市地域公共交通会議の議事の経過及びその結果を明確にするためにこの議事録を作成し、会長及び委員1人が署名する。

令和7年8月21日

会 長 磯部 友彦

署名人 木村 俊夫